

# 統計だより

## 県内各市町の統計所管課だより(その12 南島原市)

南島原市市民生活部市民課 山田 史哉

### 【南島原市の紹介】

南島原市は、長崎県の南部、島原半島の南東部に位置し、千メートルを超える山々が連座する雲仙岳山麓から、南へ広がる肥沃で豊かな地下水を含む大地が大部分を占め、魚介類豊富な有明海及び橘湾に広く面する海岸線を持つ地域です。

海岸沿いに3つ海水浴場を有し、夏には多くの人たちが海水浴を楽しみます。また、2つの滝が存在し、「戸ノ隅の滝」は長崎県随一の水量を誇っています。

市内には歴史的にも貴重なキリシタン文化遺産も多く点在しており、島原・天草一揆の舞台となった原城跡は、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成遺産として登録されています。

主な産業は、豊富な農産物と手延そうめんの製造販売で、そうめんについてはその技術も卓越し、全国有数の生産量を誇っています。

基幹産業である農林水産業を生かした農林漁業体験民宿にも力を入れています。修学旅行を中心に全国から訪れていただいております。海外からの利用もあります。南島原ひまわり観光協会を窓口として、現在、市内162軒の農林漁家で受け入れ体制を整え、昨年1年間では、延べ11,691人の利用がありました。

令和2年9月末の市の人口は、44,603人。昨年同時期から815人も減少しています。人口減少が進む中、本市では移住政策にも力をいれています。昨年度の移住者数は、83人。少しずつですが、本市を知ってもらい、訪れてもらい、暮らしていただける方が増えています。



### 【一人ひとりの“しあわせ”を目指して】

人口減少、少子高齢社会の中にあって、市民一人ひとりが思い描く“しあわせ”はさまざまであることから、行政が一方的にまちづくりを進めるのではなく、しあわせを実現するための場所として南島原市を選んでもらうべく、平成30年7月に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「原城跡」などの観光資源や、全国第2位の生産量を誇る「島原手延そうめん」などの地域産業を

活かしながら、「人と自然が共生するまち」「郷土の誇りを守り活かすまち」「賑わいと活力を興すまち」「健康でつながりを大切にするまち」「次代を育む人づくり」「安全安心に暮らせるまち」「世代を問わず暮らしやすいまち」「健全で持続可能なまち」を目指して、本市が「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち」となるよう、まちづくりに取り組んでいきます。

～統計データ編～

【出生・死亡・転入・転出者数、合計特殊出生率の推移】

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
出生者数	346	304	302	271	261	239
死亡者数	786	774	727	807	798	826
自然減数	△ 440	△ 470	△ 425	△ 536	△ 537	△ 587
転入者数	1069	1094	995	946	970	904
転出者数	1423	1452	1315	1345	1346	1165
社会減数	△ 354	△ 358	△ 320	△ 399	△ 376	△ 261
合計特殊出生率	2.16	1.81	1.88	1.85	1.90	

(住民基本台帳年報、長崎県衛生統計年報)

【南島原市の産業構造】

区 分	総生産額 (百万円)		就業人口 (人)	
	*	構成比	(H27国勢調査)	構成比
第1次	14,772	14.7%	5,398	23.8%
第2次	14,560	14.5%	4,461	19.7%
第3次	71,031	70.8%	12,807	56.5%
計	100,934	-	22,666	-

(H29 市町村民経済計算)

南島原市の総生産額（平成 29 年度）は 1,009 億 3,400 万円で、県全体（4 兆 5,757 億 5,100 万円）の総生産額に占める割合は、2.2%となっています。

近年、人口減少に伴い就業人口も減少し、合併直前の平成 17 年国勢調査からは、就業者が 2,968 人減少しています。

総生産額の産業別比率を見ると、上位から「農業」135 億 3,000 万円（13.5%）、「不動産業」130 億 8,100 万円（13.0%）となっており、農業については、雲仙市に次いで県内第 2 位の総生産額となっており、県内有数の農業地帯であることを示しています。

また、350 年を超える歴史をもつ「島原手延そうめん」は、現在、市内に約 230 軒の工場があり、毎年 7 月 7 日の「そうめんの日」など、そうめんを食す機会を増やす取り組みのほか、市役所商工振興課内に「そうめん振興班」をおき、新たな販路の開拓を進めています。



#### 【統計調査について】

統計開始 100 年の節目を迎えた国勢調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式が求められる中であって、感染防止対策をとりながらの調査となり、調査員・指導員には大変お世話になりました。また、調査にご協力いただきました各家庭につきましては、改めてお礼を申し上げたいと思います。